



株式会社エムケー
代表取締役 松川 慎

1995年、軽運送松川急送設立。97年に有限会社化、代表取締役役に就任。2004年エムケーに社名・組織変更。16年、合併会社ミャンマーMKヘラクレスを設立、会長に就任。



リフト作業風景。現地合併会社ではヤンゴンとマンダレーを結ぶ定期便を運行。貨物輸送の定時化・確実化を目指し、とりわけ生鮮食品の輸送で力を発揮している。



合併会社ミャンマーMKヘラクレス社。本社のあるマンダレーは中国国境のムセのほか、タイ国境のミャワディーなど、ミャンマー全土への物流拠点となっている。



PROJECT REPORT

日本の技術、世界を変える ODAを活用した中小企業海外展開支援

安全で効率的な輸送体系の確立で ミャンマーの物流安定化を後押し

株式会社エムケー（東広島市）は、経済成長の著しいミャンマーの物流整備に取り組み、JICAの中小企業海外展開支援事業（2015年公示）に「ヤンゴン・マンダレー・ムセ」幹線間における高品質な両荷物流事業実現に向けた事業調査（基礎調査）で応募し、採択された。2017年にかけて調査を行い、その後は現地に設立した合併会社で物流事業を担っている。

ミャンマーに事業展開した理由と 現地の課題を教えてください

弊社は1995年の創業以来20年以上にわたり、「品質」と「安全」を最優先に物流事業を営んできました。このような姿勢でお客様から信頼していただき、大手コンビニエンスからは、ドライ食品の物流を一手に請け負うなどしてきましたが、今後の事業拡大のため、海外での事業展開が必要になると考えていました。

そんな折、ミャンマーでは物流の効率化が課題になっていると知りました。近年、ミャンマーには多くの外国資本が進出し、急速な経済発展を見せていますが、インフラ整備が追いついておらず、さまざまな場面で課題が顕在化しています。その一つが物流の非効率性。ミャンマーではシステ

ム化が進んでいないため、往路が復路のどちらかにしか荷物を積まない「片荷輸送」が基本になっています。これでは無駄なコストがかかってしまうので、「両荷輸送」にする可能性を探ろうと、今回の事業調査を提案しました。

どのような調査を実施 しましたか？

事業名にある「ヤンゴン」はミャンマーの最大都市。海上輸送の90%を担うヤンゴン港を擁し、物流の一大拠点となっています。「マンダレー」は、ヤンゴンの北600kmの内陸にある同国第二の都市。「ムセ」はそこからさらに450km北にあり、中国からの輸人品や、ミャンマー

できて助けられました。

特に協力隊経験者は社員として迎え入れ、現地法人のヤンゴン支店で物流の管理・監督業務にあたっていただきました。外国人への接し方にも慣れていて、おかげで合併会社をうまく軌道に乗せることができました。

社員にとっても、弊社のような中小企業が海外展開できたことが自信になったようで、新たな業務にも意欲的に取り組む社風が築かれました。

物流事業がミャンマーの人に役立っている実感を得られることも、社員のモチベーションを高めています。とりわけ食材に関しては、弊社の事業によって、新鮮な状態で産地から消費地へ届けられるようになり、生産者の所得拡大に貢献しています。今後物流にかかわる課題を改善していきたいと思っています。

海外展開にあたって 苦労はありませんでしたか？

弊社にとっては今回が初の海外事業でしたが、JICAからは弊社同様ミャンマーへ進出した企業や、青年海外協力隊経験者をご紹介いただき、情報交換も



エムケーの指導で適正な物品管理が行われるようになった倉庫。貨物が社員に扱われることがなくなり、荷主の評価も高まっているという。

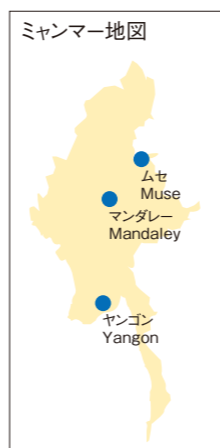
JICA開発途上国課題発信セミナー開催のご案内

2月19日、20日に開発途上国課題発信セミナーを開催し、JICAより開発途上国のニーズを分野別に解説します。JICAの海外展開支援事業のご応募、事業の海外展開にあたってぜひお役立てください。当日は併せて企業の海外展開支援事業のご応募に関する個別相談も受け付けております。

分野	内容	会場
<ul style="list-style-type: none"> 水(都市・村落給水) 水(汚水処理) 廃棄物管理 	<ul style="list-style-type: none"> 農業(水産・畜産を除く) エネルギー(電力) 国土開発・防災 	<ul style="list-style-type: none"> 開発途上国の状況・ニーズ JICAの協力方針・協力状況
<ul style="list-style-type: none"> 有望な技術領域・留意点 JICAの企業提案型事業のこれまでの傾向・事例等 	<ul style="list-style-type: none"> JICA本部とJICAの各国内拠点(TV会議接続) 	

セミナー日程	第1日(2月19日 月曜日)	第2日(2月20日 火曜日)
水(都市・村落給水)	9:30~10:15 途上国の課題・ニーズの説明(45分) 10:15~10:25 質疑応答(10分) (10:30~12:30分 分野別個別相談)	9:30~10:15 途上国の課題・ニーズの説明(45分) 10:15~10:25 質疑応答(10分) (10:30~12:30分 分野別個別相談)
水(汚水処理)	10:30~11:15 途上国の課題・ニーズの説明(45分) 11:15~11:25 質疑応答(10分) (11:30~13:30分 分野別個別相談)	10:30~11:15 途上国の課題・ニーズの説明(45分) 11:15~11:25 質疑応答(10分) (11:30~13:30分 分野別個別相談)
廃棄物管理	11:30~12:15 途上国の課題・ニーズの説明(45分) 12:15~12:25 質疑応答(10分) (12:30~14:30分 分野別個別相談)	11:30~12:15 途上国の課題・ニーズの説明(45分) 12:15~12:25 質疑応答(10分) (12:30~14:30分 分野別個別相談)

詳細や参加申し込みの受付はJICA中小企業海外展開支援のホームページ内のイベント情報をご確認ください。 https://www.jica.go.jp/sme_support/index.html



の穀倉地帯でつくられたお米などの輸出品の集積地となっています。今回、これら3都市を結ぶ幹線輸送を対象に、それぞれの拠点での取扱量や、物品の産地、輸送先などを調査し、その結果をもとに「両荷輸送」に向けた改善策を練る計画でした。その一方「実際に物流事業を行いたくから課題を探りたい」という思いもあつたことから、調査期間中の2016年1月に合併会社「ミャンマーMKヘラクレス社」

今回の支援地域
ミャンマー

